

1年生保護者会資料

【1学年 在籍児童数】

1組	2組	3組
男子 15名	男子 14名	男子 14名
女子 14名	女子 14名	女子 14名
計 29名	計 28名	計 28名

1. 学年目標について

学校教育目標

- ◎すすんで学ぶ子
- からだをきたえる子
- 思いやりのある子
- 最後までやりぬく子

1年 学年目標

- ◎話をしっかり聞く子
- ◎気付いたことや考えたことを表現できる子
- 元気よく遊ぶ子
- 友達と仲良くできる子
- 最後までがんばる子

○話をしっかり聞く子

「学ぶ」ことは、「話を聞くこと」から始まります。まず、先生の話、友達の話をしっかり聞くことが学習の第一歩です。

☆目指そう！聞き方名人☆

- ・体（へそ）を向ける
- ・口をとじる
- ・目を見る
- ・動きを止める
- ・最後までしずかに

○気付いたことや考えたことを表現できる子

学校では、どの教科の学習でも、課題について気付いたことや考えたことを、文や絵・図・言葉・式などを使って表現することで学習を共有したり、深めたり、広げたりしていきます。

まずは、「なんだろう？」「どうしてだろう？」という子供たちの疑問を大切にしながら、気付き、思考する力を育てていきたいと思っています。

さらに、考えたことや思ったことを自分なりの方法でのびのびと表現できる子に育てていきたいと思っています。友達の表現を見たり聞いたりしながら、表現の仕方も次第に多様化し、より相手に伝わりやすいものになっていくようにします。



○元氣よく遊ぶ子

力いっぱい体を動かすことは、心や体を大きく育てます。遊びや運動を通して、体力や運動能力だけでなく、やる気や自信、豊かな人間関係、考える力なども育っていきます。また、生活リズムも整い、学力の向上にもつながります。「よく遊び、よく学べ！」を目指します。



○友達と仲良くできる子

学校は、集団生活のルールを学ぶ場でもあります。集団の中で、互いに良さを認め合いながら生活していくことが、自分の個性を磨き、良さを伸ばしていくことにつながります。また、友達と仲良く生活していくために、折り合いをつけることも学んでいきます。

1年生の合言葉は、「やさしい言葉で心ぽかぽか」です。優しい言葉遣いや言い方を心掛け、友達との温かい関係を築いていけるように指導します。

○最後までがんばる子

目標をもって何事にも挑戦し、失敗したら、その理由を考えてもう一度挑戦する、そして成功!!・・・。この体験を繰り返しながら、できることを増やし、自信を付け、さらに、次の目標をもって挑戦しようという意欲へとつながっていきます。一つ一つのことを最後まで頑張ることができるよう、担任と保護者の方とで温かく見守り、子供たちを支えていきたいと思っています。

2. 1年生の体と心

1年生の体

- ①幼児体型から、次第に手足が長く、身長も伸びてスマートになってくる。
- ②指先が器用になってくる。
- ③身体の調整力が発達し、複雑な動きや器用な動きもできるようになる。
- ④体力がついてくる。



遊びや生活の中で運動能力と体力をつけさせたいものです。遊びや生活の充実が心の安定にもつながります。

- ◎ 生活リズムをしっかり整えましょう。(早寝早起き、朝ごはん)
- ◎ 外遊びの機会をつくりましょう。
- ◎ 生活の中での体力づくりを心がけましょう。
・近い距離は歩くようにする。・乗り物では立つなど

1年生の心

入学当初は、緊張の連続です。しばらくは不安定な気持ちが続きます。

保護者の方も一緒になって不安がったり、緊張したりしないことが大切です。家庭ではお子様が安心して過ごせるよう、ゆったりと話を聞いてあげてください。

1年生はこんな姿からスタートします。

こんな1年生らしさを心配しないでください。

1人で、ぼつんとしている

自分から声をかけることができず友達の中に入れないうちや、一人で遊んでいる方が好きな子がいます。あせらずに、じっくりと見守ってあげてください。

学校では、いろいろな集団活動を行ったり、担任が遊びと一緒に入ったりすることで友達の輪に入れるよう、支えていきます。



学校に慣れるのに時間がかかる

「うまくできるかな?」「忘れ物はないかな?」など不安や緊張の強い子もいます。

学校では、学習や遊びが楽しく行えるよう、活動を工夫していきます。楽しく登校できるよう、保護者の方も「だいじょうぶだよ。」と声をかけ、安心させてあげてください。また、学習の用意をしっかりと整えることで、安心して活動ができます。用意ができているか、ご確認をお願いします。



気持ちを言葉で伝えるのが難しい

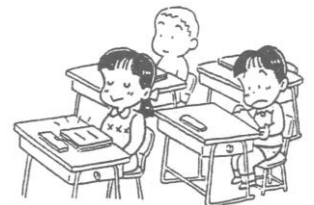
1年生は、まだ、自己中心的なところがあり、相手の立場に立って考えることが難しい子もいます。また、自分の気持ちをうまく言葉で伝えられず、「たたく」「おす」「ける」「つねる」「乱暴な言葉」などで相手に気持ちを表現してしまうこともあります。上手に関われないために、友達のを引くような行動をして、自分と関わってくれることを喜ぶ姿も見られます。

関わり方を知らせつつ、よい人間関係を築いていけるよう支援していきます。困っている時は担任にご相談ください。



のんびりしている

学習の準備や片付けなどに時間のかかる子がいます。やる気と希望に満ちている今が基本的な生活習慣、学習習慣を身に付けるチャンスです。やり方を丁寧に教え、時間がかかっても自分でやらせ、できたことを褒めるようにしていきましょう。また、いつやるか、いつまでやるかなど目標を自分で決めさせて、やらせるようにすることで、「早く、早く」と急がせなくてもやれるようになっていきます。



1年生には、こんな特徴があります。

「やったこと、見たこと、聞いたこと」などを話したがるが、断片的になりやすい。

相づちをうちながら、じっくり話を聞いてあげましょう。ご家庭でも安心して、何でも話せる雰囲気をつくってあげてください。

親や教師から、褒められることをたいへん喜ぶ。

「もう1年生なんだから」という要求をするよりも、「さすが、1年生。」と褒めてあげることで、どんどん意欲もわいてきます。

スキンシップを喜ぶ。



甘え上手な子は、担任にも6年生にもスキンシップたっぷりに甘えてきます。心の緊張を解きほぐしてあげるためには、時には甘えさせることも大切です。お子様とのスキンシップも、今はとても大切です。

自己中心性がまだ残っている。
けんかやもめごとが多い。



けんかしても、自分の言い分だけを話すこともまだあります。子供の言い分を受け止めつつ、上手に聞き出してあげることで、自分を見つめ直すこともできるようになります。

けんかをしながら、だんだん人のことを考えて我慢をする力も育ってきます。大人が解決してあげる方が、かえって心の成長の妨げになったり、人間関係をこわしてしまったりすることもあります。学校では、双方の話を聞いた上で解決の仕方を指導していき、少しずつ自分たちで解決できるようにしていきます。

五感を働かせ、全身を使って学ぶことを喜ぶ。

様々な学習体験ができるよう、学校では考えていきます。

ご家庭でも、様々な生活経験をさせてあげてください。

感じたことをいろいろな言葉で表すようにすると、感性豊かな子に育っていきます。

子供の変化は成長しようとしている証拠です。まずは大人が子供のありのままを認める姿勢が大切です。認められることで安心感を得ることができ、よりよい成長へとつながっていきます。

こうなってほしいと思っていることについては、できたことを褒めていくとその心がよく育っていきます。また、大人の言動を子供たちはよく見ていてまねをしていきます。子供たちに求めることは、大人がよい手本となる姿を見せていくことが大切です。

資料

1年生のうちにみにつけましよう

あいさつ・へんじ

- よばれたら、「はい。」とへんじ
- あったら、「おはよう。」「さようなら。」
「こんにちは。」のあいさつ
- ひとになにかしてもらったら「ありがとう。」
- わるいとおもったら「ごめんなさい。」
わざとでなくとも、ぶつかったとき、まちがったときなど「ごめんなさい。」

せいかつリズムを ととのえる！

- はやね・はやおき・あさごはん！
- がっこうにくるまえにうんちがでるとすっきり！！

じぶんのことは、じぶんでやる！！

あしたのじゅんぴは、まえのひに！

- はじめのころは おうちのひとといっしょにやる。
- なれてきたらじぶんでやってから、おうちのひとにたしかめてもらう。
- 「だいじょうぶ」になったらじぶんでやる。

めざそう！！

ききかためいじん！！

- からだ（へそ）をむける
- くちをとじる
- めをみる
- うごきをとめる
- さいごまでしずかに

ものをたいせつに

- じぶんのものには、ぜんぶなまえをかいてもらう。
- つぎのことをするまえに、かたづけをする。

せいり・せいとん

- どうぐはこのなか
- つくえのなか
- かばんのなか
- みんなのばしょ

3. 1年生の学習内容

国語

- ・順序よく、相手に分かるように話す。
- ・大事なことを落とさないように集中して聞く。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字を正しく丁寧に書く。(1年生配当漢字80字)
- ・長音、拗音、促音、撥音の表記や、助詞の「は、へ、を」句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方などを理解して使う。
- ・「したこと」「見たこと」「感じたこと」などを、順序よく書く。
- ・時間や事柄の順序を考えながら大体の内容を読む。
- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。
- ・読み聞かせや読書活動を通して、いろいろな本に親しむ。

算数

- ・100までの数の数え方、読み方、意味を理解する。
- ・20までのたし算、ひき算を計算する。(くり上がり、くり下がりなしあり)
- ・長さくらべ、かさくらべ、ひろさくらべを、操作を通して行う。
- ・かたち遊びを通して形の特徴を捉える。
- ・時計を見て、時刻を読む。
- ・文章問題や場面絵を読み取って式に表す。



生活

- ・学校の施設・先生・友達のことが分かり、楽しく学校生活ができるようにする。
- ・みんなで使う場所や物を大切にし、安全に気を付けて利用することができるようにする。
- ・家族のために自分ができることを考え、自分でできることは自分で行ったり、お手伝いをしたりする。
- ・四季を通して、身近な自然を観察したり、栽培活動をしたり、それを活用して遊んだりすることにより、自然に親しむ。
- ・生き物を飼ったり、植物を育てたりする活動を通して、その様子に関心をもって働きかけ、生物に親しみをもち、大切にしようとする。
- ・一年間の様子を振り返り、自分の成長に気付くことができる。



音楽

- ・情景を想像しながら歌ったり、曲を聞いたりする。
- ・身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏する。
- ・メロディーやリズムなどの音楽の要素に感覚的に反応し、音楽やその演奏の楽しさに触れる。

図工

- ・課題に沿って、身近な材料や用具を使って、絵や立体で表現する。
- ・作品を見て、感じたことを話したり、友達の話を知ったりして、形や色、表し方の面白さに気付く。
- ・用具の使い方を理解し、表現の仕方を考えて作品を作る。



体育

- ・だれとでも仲良くし、安全に気を付け、きまりを守って運動する。
 - ・簡単なきまりや動きを工夫して楽しく運動をする。
- 〈体づくり運動〉 ・友達と関わり合いながら体をほぐす運動遊び
- ・多様な動きをつくる運動遊び(バランス、力試し、縄跳びやボールなどの用具を操作する運動)
- 〈器械・器具を使つての運動遊び〉 ・固定施設 ・マット ・跳び箱 ・鉄棒
- 〈走・跳の運動遊び〉 ・かけっこ ・障害物を用いてのリレー遊び ・前や上に跳ぶ運動
- 〈水遊び〉 ・水に慣れる ・浮く ・もぐる
- 〈ゲーム〉 ・ボール投げゲーム ・ボール蹴りゲーム ・鬼遊び
- 〈表現・リズム遊び〉 ・軽快なリズムに乗って踊る。 ・身近な題材の特徴をとらえて全身で踊る。

道徳

〈自分を見つめて〉

- ①規則正しく気持ちのよい毎日を
- ②自分でやることはしつかり
- ③良いと思うことはすすんで
- ④素直にのびのびと

〈人とともに〉

- ①気持ちの良い振る舞いを
- ②温かい心で親切に
- ③友達と仲良く
- ④お世話になっている人に感謝して

〈命にふれて〉

- ①命を大切に
- ②生き物にやさしく
- ③すがすがしい心で

〈みんなとともに〉

- ①約束やきまりを守って
- ②働くことの良さを感じて
- ③家族の役に立つことを
- ④学校の生活を楽しく
- ⑤ふるさとに親しみをもって

教科書を基に授業をします。物語の読み取りだけで終わるのではなく、「思いやり」「生命の尊さ」など道徳的な価値について問題意識をもたせ、友達と考え・話し合いをすることで、自立心や自律性、自他の生命を尊重する心を育て、自己の生き方についての考え方を深められるよう、少しずつ取り組んでいきます。

学級活動

- ・クラスで仲良く助け合い学級生活を楽しく、よりよい学級や学校にしようとする。
- ・行事でのめあてをもち、意欲的に行事に取り組もうとする。

キャリア・パスポートの取組について

文部科学省からの通知で、2020年4月から全国の小学校・中学校・高等学校で「キャリア・パスポート」を導入することとなりました。

「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、自身の変容や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオ（振り返って気付いたことや考えたことなどを児童が記述して蓄積するもの）のことです。

保護者の皆様にも、励ましの言葉となるコメントの記入のご協力をお願いしたいと考えています。ご理解・ご協力をお願いいたします。

参照：キャリア・パスポートって何だろう？

文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター

4. 学習用具について

(1) 鍵盤ハーモニカ

今まで使っていたものがあれば、そのまま使ってください。申し込みをされた方は、本日販売があります。7月の後半より使用します。

(2) 水着と水泳帽

今年度は、水泳の授業がありませんので、準備していただくなくて大丈夫です。販売も行いません。すでに申し込まれた方には、後ほど代金をお返しいたします。

(3) 粘土(油粘土)・粘土ケース・粘土板

既にお持ちの場合→使える状態であれば、それをもたせてください。7月より使用します。

ない場合 →共同購入を受け付けます。 粘土460円 粘土ケース250円
粘土とケースのセット購入の場合は700円
粘土板 340円です。

お手持ちの封筒に、希望する品名と氏名をご記入いただき、代金を添えてお子さんに持たせてください。6月19日(金)までにお願いします。

文具店やホームセンターなどで購入していただいてもかまいません。

(4) 絵の具セットについて

2学期より使います。7月の保護者会の際に、見本と申し込み封筒を提示しますので、一括購入をご希望の方は、ご覧になってください。お持ちのものを使う場合は、2学期が始まるまでにご用意をお願いします。

5. 宿題について

今後、基本的には毎日、国語（ひらがなやカタカナ、漢字）・算数（計算）・音読の3点を宿題に出します。

国語プリント…担任が丸付けをします。もれがなく練習できているか目を通してあげてください。

また、学校で赤で直されているものは、なぜって直すように声をかけてください。

算数プリント…保護者の方が丸付けをお願いします。

音読カード…観点に沿って聞いていただき、チェックとサインをお願いします。

確実に取り組む→忘れないようにランドセルに入れる→学校で提出する

という習慣が身に付くように、サポートをお願いいたします。



- 学校からのお便りは、必ず目を通してください。
- 担任に知らせたいことを連絡帳に書いた際には、書いたページがわかるようにして（付箋やクリップ等）連絡袋に入れてくださるとありがたいです。お子さんに「朝のうちに先生に見せること」を必ずお伝えください。
- 欠席・遅刻・早退の連絡は、連絡帳でお知らせください。学童への出欠は、欠席する時のみご連絡ください。
- 遅刻・早退の場合は保護者の方の送り迎えをお願いします。どちらの場合も、防犯上の理由から、教室までお越しいただき、直接担任と顔を合わせて、引き渡しをするようお願いいたします。
- 今日から在校時間が長くなっていますので、マスクやハンカチの予備をランドセルに入れておいてください。
- 毎日時間割を見て明日の準備をするよう、お子さんに伝えてあります。慣れるまでは、一緒に確認していただけると助かります。また、あわせて筆箱の中身の確認もお願いします。
- 学校には、学習に関係のないものは持ってこないきまりになっています。持ち物は余分な飾りや機能のないものをご用意ください。
- 鉛筆の持ち方、箸の持ち方、安全ピンの付け外しなどご家庭でも見てくださいますようお願いいたします。正しい持ち方を身に付けさせるなら今です。筆圧の弱いお子さんは、4 B鉛筆を使うことをお勧めします。